GDM-906X アプリケーション資料

スクリーンショット&データログ機能

本資料では、スクリーンショット&データログ機能についての応用操作について説明します。 GDM-906Xの取扱い説明書も合わせて参照ください。

- 例1データログ機能:測定値の記録 Recent
- 例 2 データログ機能:測定値の記録 Sample Count



- LOG / LOG# ボタンの説明
- LOG/LOG#
- 1. ◎ を押すと、フロントパネルに挿入した USB メモリへの保存動作が始まります。 画面または測定値を保存することが出来ます。

2.	tocal	+ O	^{G#} を押すと	:、ログモー	-ドの設定メニ	ニューに、	入ります。
LOC	CDC		2		CII 🕪 🔂 1	4:51:17	
(DC	Voltage	Trig:A	uto Filter		5/s 🛛 🗛 Range	: 100mV	
	-()()()	.0()()	1	
		Ā	-Zего		mVI	DC	
Log Ca	g Mode pture ❤	FileName Default	Name SCREEN00	OverWrite Always <mark>⇒</mark>			
	F1 ログモ F1 (ミードの選 Capture	訳: : 画面キャプラ	チャモード			

F2 SaveRead: 測定値記録モード

Capture : 画面キャプチャモード

キャプチャモードは「C」となります
LOC CDC 2 DC Voltage TrigrAuto Filter 5/s A Range: 100mV
A-Zero) mVDC
Log Mode ESC :Return 🔊
LOG/LOG#
画面キャプチャモードでは 💟 ボタンを押して、現在の画面表示を保存します。
SaveRead・ 測定値記録モード
測定値記録モードは「S」になります
A-Zero Log Mode FileName Name OverWrite Source
SaveRead 😴 Default 😴 DATAC000 Always 😴 Count 😴

測定値記録モードでは マ ホタンを押して、現在のサンフリング・バッファにある測定 値を保存します。測定機能を切り替えると、サンプリング・バッファはクリアされます。 ※測定を実施しながら USB メモリへ値を書き込むことはできません。

GDM-9060 サンプリング・バッファ 1万 reading GDM-9061 サンプリング・バッファ 10万 reading Source Count

- F5 SaveRead 測定値記録モードのみ : Count / Recent
 - F1 Count:総カウント数で記録
 - F2 Recent: 一定間隔で記録

例1 測定値記録モード:Recent を使用して、1 秒間隔で記録

Math

- 1. (DISP) キーを押します。
- 2. F2 キーで、Display を選択します。
- 3. F3 キーを押して、TrendChart に切り替えます。
- 4. F4 キーで、 HScale を選択します。
- 5. F2 キーで、 Recent を選択します。



 F5 キーを押してトレンドチャートの横軸時間を設定します。(測定ストップ時は設定不可) 初期値は 400 秒で、記録間隔は 1 秒です。 測定値記録モードでは、この時間を使用し記録が行われます。
F4 位置の Δ***が、設定されている時間間隔です。

トレンドチャート機能では、測定回数 400 カウント分が画面表示されますので、 その時間を設定することで測定値記録の時間間隔を設定します。

- 7. ロータリノブやキーを使用して F5 を 800 秒に変更すると、記録間隔は 2 秒になります。
- 8. 値を設定した際は、F6 キー ENTER を押し、決定します。
- 9. F6 キー ReStart を押すと、記録が再スタートします。

※時間間隔 Δ***は、マルチメータのリフレッシュレートより長い必要があります。リフレッシュレートより短い 時間間隔の場合は、測定値は更新されていない為、前回と同じ値が記録されます。 (リフレッシュレートの設定時間適用は、Auto-Zero を OFF にする必要があります)



時間間隔 Δ*** > リフレッシュレート

10. AutoStop 機能: F3 キーで時間設定すると、N分後に自動的に停止します。(N: 1~9999)



- 11. F6 キー Start を押すと、測定が始まり、時間が経過したら自動的に停止します。
- LOG/LOG# 12. USB メモリを挿入し、 の ボタンを押すとサンプリング・バッファにある測定値データが メモリに保存されます。ファイル名は DATARxxx.CSV となります。

	А	В	С	C
1	Start: 2019	9/01/23 15:	35:12	
2	End: 2019/	/01/23 15:3	35:45	
3	Interval:1.	0000Sec		
4	DC Voltage	2		
5	5.56E-05			
6	5.55E-05			
7	5.54E-05			
8	5.60E-05			
9	4.96E-05			
10	6.21E-05			
	4 005 05			

開始時間/終了時間/インターバル時間/測定機能/測定値

例 2 測定値記録モード: SAMPLE COUNT を使用して 1 分間の値

を記録する

DCV、リフレッシュレート:20/S、で1分間の測定値記録の例。 (AutoZero: OFF とする必要があります。ON の場合はレートが2倍の長さとなります)

20 / s × 60 s = サンプル数 1200

LOCCDC		1		C	3 🕪 🙀	급 11:	25:	43
DC Voltage	Trig:Au	to Filter		20/s) 🚺 Rai	nge:	10\	
	07	7.Ç)5	5	7			
	A-2	<u>Zего</u>				VD	C	
Range 10V 🗸	Speed 20/s 🔫	Auto Zero On Off	Input R 10M Auto	DCV On	Ratio	2M 0	ND ff	¥

- 1. Shift + TRIG を押して、トリガ設定メニューTrig#に入ります。
- 2. F2 キーで、Samp Count を選択します。

LOCCCDC)	2			C	3 🕪 🌄 .	11:26:13
DC Volta	ge) (Trig	:Auto Fi	ter	(20/s) 🚺 Range	: 10V
		8.	1	8	1	2	5
		А-Zего				V	DC•
TrigSouro Auto	ceSampCo <mark>▼</mark> 1	ount 1ST	Delay uto 凙	2ND Delay	/ Trig Pos	Signal EC	OM OUT

3. ノブまたは数値キーで値を設定します。SampCount = 1200

LOCCDC	2		C	🗉 📣 🔂 1	1:26:18
DC Voltage	Trig:Auto Fi	lter	(20/s) 🚺 Range:	_10V
					Î
			76		
] [.		URU	10R	
	A-Zero)			VE)C
SampCount	N	1200	47	Shift : 🔶 🛛	SC): 🔊
				E	inter

- 4. **TRIG** キーを押して、シングルトリガモードに入ります。
- 5. (Shift) + DISP キーを押し Math モードに入り、 F2 キーを押して MathDisp STAT を ON します。

LOC	2	🕒 🕕 🔁 13:33:50
DC Voltage	Trig:SIN Filter	20/s (ARange: 1V)
-}- '	1.00	0429
		VDC •
Function Off 🗸	MathDisp Off 😴	ReStart

6 MathDisp STAT ON 状態

LOCLAN	2		C 🗄 📢	문글 13:35:07
DC Voltage	Trig:SIN Filter	2	20/s 🛛 🗛 F	lange: 1V
-+ '	1.00)()2	16	
Minimum Maximum Average	: +1.000411 : +1.000476 : +1.000448	Peak−Pea STDEV Count	ak :+0.0 :+00 :235	000065 0.0129m
Function M	athDisp STAT 🌫			ReStart

7. F6 キー ReStart を押すと、バッファがクリアされます。

LOCCDC	2	🕒 🕕 🔂 🔁 11:27:15
DC Voltage	Trig:SIN Filter	20/s 🛛 🚺 Range: 10V
Í		
	(
<u></u>	A-Zeroj	
Minimum		Peak-Peak :
Maximum :		STDEV :
Average :		Count : 0
Function Ma	athDisp	BoStort
Off 🔫	STAT 😴	Restart

3 TRIG#

8. (TRIG) キーを押すと、マルチメータは測定を開始し、Count=1200 に達すると自動で停止します。



9. ReStart がそのまま表示されている状態で、もう一度 TRIG キーを押すと、測定が継続されます。 Count=2400

3 TRIG#

- 10. F6 キー ReStartを押すとバッファがクリアされ、 (TRIG# Count=1200 LOG/LOG#
- 11. USB メモリを挿入し、 〇 ボタンを押すとサンプリング・バッファにある測定値データが メモリに保存されます。ファイル名は DATACxxx.CSV となります。

保存の際、LOG#設定は次の様にしておきます。

	VDC U				
Log Mode	FileName	Name	OverWrite	Source	
SaveRead y	Default 😴	DATAC000	Always 😴	Count 😴	

Count	τ− ド
-------	-----------------

	А	В	С	D	E	F
1	DC Voltage	2				
2	1.00E+00					
3	1.00E+00					
4	1.00E+00					
5	1.00E+00					
6	1.00E+00					
7	1.00E+00					
8	1.00E+00					
9	1.00E+00					
10	1.00E+00					
11	1.00E+00					
12	1.00E+00					
13	1.00E+00					
14	1 00E+00					